



スズメバチは7～10月が最盛期

注意 ⚠️ ハチ刺され

毎年、6月～9月は、ハチ刺され事故が多く発生しています。

ハチ刺され事故を防ぐには、
先ずハチに刺されないことが基本

- 作業前にハチが飛んでいないか、必ず作業現場の状況の確認を行いましょう。
- 常に「携常用ハチ撃退用スプレー」をそばに置いて作業しまししょう。
- 巣に近寄らない、巣に振動などの刺激を与えない、巣の近くでは作業しないことを常に心がけましよう。



ハチの攻撃の特徴

いきなり、無差別に人に攻撃を仕掛けるわけではありません。

速やかに危険区域から離れましよう

- ① 巣への接近に対する**威嚇**⇒ハチが高い羽音を発して飛び回る。
- ② ハチの**威嚇を無視し、これに気がつかない場合、また巣に振動を与えた場合**⇒巣内から多くのハチが飛びだし大騒ぎになる。相手にまっすぐ飛びかかり毒針で刺す。
- ③ **巣に直接刺激したり、巣を破損した場合**⇒巣内から多くのハチが一斉に巣の外へ飛び出し、いきなり飛びかかりすく刺す。



令和元年度
安全就業標語

最優秀

『無茶と無理 するなさせるな 見逃すな』

公益社団法人 山形県シルバー人材センター連合会

〒990-0041 山形市緑町1丁目9-30 緑町会館3階 TEL.023-626-3566

山形県シルバー連合会

検索

熱中症患者の半数は65歳以上の高齢者

STOP! 熱中症



作業するうえでの熱中症対策

作業時間の短縮

- 休憩時間の延長
- 暑さのピーク時間帯の作業中止
- 早朝などへのシフト



暑さへの順応

暑さに順化するには**1週間必要**⇒計画的に順化させる

- 暑さに慣れること。
- 2~3日で自律神経(発汗反応)が変化する。
- 4~5日で塩分の損失を抑える効果あり、汗がサラサラになり蒸発・気化しやすくなる効果あり

急に暑くなった日の
初日に作業するのは
危険!



水分・塩分の摂取

- 0.1%~0.2%の食塩水を20~30分おきにコップ1~2杯摂取することを推奨
- 市販のスポーツドリンクが便利(糖分の取り過ぎに注意)
- 定期的に摂取することが重要

高血圧症の方は、
塩分の摂取が適当かどうか
主治医に確認が必要!

注意



服装

- クールジャケットなどの透湿性・通気性の良い服装を着用
- 直射日光下では、通気性の良い帽子などを着用



熱中症に影響を与える要因

日常の健康管理が重要

- 睡眠不足
- 朝食の未摂取
- 体調不良
- かぜなどによる発熱
- 前日の飲酒
- 下痢などによる脱水



出典：厚生労働省ホームページ

新型コロナ
ウイルス感染症に
注意!!

一人一人のマスクの着用や手洗いの徹底がとても重要です。
感染症対策に努めていただくようお願いいたします。